



つくり手たちの こだわり

—大西暢夫写真展—

職人、アールブリュットの作者、独学の仏像づくり
— 写真家、大西暢夫が捉えた10人の肖像



2018 | 8.25 [土] ~
9.17 [月・祝]

会場 | ボーダレス・アートミュージアムNO-MA
滋賀県近江八幡市永原町上16【旧野間邸】

開催時間 | 11:00-17:00 観覧料 | 無料

休館日 | 8.27[月]、9.3[月]、9.10[月]

大西暢夫は独自の取材で様々な地域に赴き、何十年もの時間をかけて体得した唯一無二の技術をモノづくりに捧げる職人や、自身のための制作を行うアール・ブリュットの作者、独学の仏像作りといった様々なつくり手たちに真摯に向き合い、その姿を写真に収めてきました。レンズ越しに多くのつくり手たちを見つめていく中で、分野は違っても、共通する緻密さや奥深さを大西は感じていったといいます。

本展では10人のつくり手たちの写真と併せ、彼らが作った製品や作品も展示します。モノが生まれる背景にある絶え間ない研鑽や、長年の実践の中で辿り着いたそれぞれの意匠を、大西の写真を通してご覧ください。

| つくり手たち |

伊藤亀堂 墨匠 / 三重	西村英次 養蚕製糸家 / 滋賀
樋口昭一 硯職人 / 宮城	三浦呑龍 ねぶた絵師 / 青森
土橋要造 天然砥石堀匠 / 京都	荒木勝美 独学の仏像作り / 滋賀
安藤義久 鍛冶職人 / 愛知	澤田真一 陶芸家 / 滋賀
知名定順 カニマン鍛冶工房 / 沖縄	西本政敏 美術家 / 北海道



大西暢夫 Onishi Nobuo

写真家、映画監督

1968年東京生まれ。岐阜県揖斐郡池田町で育つ。東京総合写真専門学校卒業後、写真家の本橋成一氏に師事。アシスタントをするあいまに、ダムに沈む岐阜県徳山村の取材を独自に開始する。また、アール・ブリュットの作者らの撮影や、月刊『ガバナンス』にて全国各地の職人たちを

取り上げた「手技手業」の連載なども手掛けている。その他にも精神病院閉鎖病棟、東日本大震災被災地など、多岐にわたるテーマの下、いずれも終わりのない長期取材を続けている。著書に『ひとりひとりの人』『糸に染まる季節』『津波の夜に 3.11の記憶』など。



NO-MA 交通案内

- 【バス】JR近江八幡駅北口から近江鉄道バス[長命寺線(6番のりば)]、大杉町八幡山ロープウェイバス停下車、徒歩約8分。
- 【車】名神高速道路・竜王ICより「近江八幡・8号線」方面に出る。国道8号線「西横関」交差点を右折、「東川町」交差点を左折、県道2号線「小船木町」交差点を右折、「出町」交差点を左折、計約25分。
※駐車場に限りがありますので満車の際は市営駐車場等をご利用ください。

関連イベント

「大西暢夫が語る、つくり手たちの姿」

つくり手たちの強いこだわりや、繊細なモノづくりの世界について、実際に彼らと出会い、取材を行った大西が語ります。ゲストに独学で木彫りの仏像を制作する荒木勝美を迎えます。

講演者 | 大西暢夫 ゲスト | 荒木勝美

日時 | 9月8日(土)13:30-15:00

会場 | ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

入場料 | 無料 定員 | 20名(要予約)

お問い合わせ・イベントのご予約

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

Tel/Fax 0748-36-5018

E-mail no-ma@lake.ocn.ne.jp

URL http://www.no-ma.jp